



リリース ノート

NetApp Console setup and administration

NetApp

February 11, 2026

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/console-setup-admin/whats-new.html> on February 11, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

リリース ノート	1
新着情報	1
2026年2月9日	1
2026年1月13日	1
2025年12月10日	2
2025年11月10日	3
2025年10月6日	4
BlueXPはNetApp Consoleになりました	4
コンソールエージェント 4.0.0	10
NetApp Console	11
2025年8月11日	12
2025年7月31日	13
2025年7月21日	13
2025年7月14日	14
2025年6月9日	15
2025年5月29日	16
2025年5月12日	16
2025年4月14日	18
2025年3月28日	19
2025年3月10日	19
2025年3月6日	20
2025年2月18日	20
2025年2月10日	20
2025年1月13日	22
2024年12月16日	23
2024年12月9日	24
2024年11月26日	24
2024年11月11日	25
2024年10月10日	25
2024年10月7日	25
2024年9月30日	27
2024年9月9日	28
2024年8月22日	29
2024年8月8日	29
2024年7月31日	30
2024年7月15日	31
2024年7月8日	31
2024年6月12日	32
2024年6月4日	33

2024年5月17日	33
NetApp Consoleの既知の制限	34
コンソールエージェントの制限	34

リリース ノート

新着情報

NetApp Console管理機能の新機能（アイデンティティおよびアクセス管理 (IAM)、コンソール エージェント、クラウド プロバイダーの認証情報など）について説明します。

2026年2月9日

Console エージェント 4.4.0

4.4.0 リリースでは、標準モードと制限モードの両方がサポートされています。

Console エージェントのこのリリースには、セキュリティの改善とバグ修正が含まれています。

NetApp Console管理

このリリースには以下が含まれます。

NetApp Backup and Recovery ワークロード（**Oracle** および **Microsoft SQL Server**）のロールベースアクセスのサポート

バックアップとリカバリのワークロード（Oracle と Microsoft SQL Server）をプロジェクトに関連付けることができます。プロジェクトに割り当てた後、プロジェクトのバックアップとリカバリのロールを割り当てられたユーザーはワークロードを操作できるようになります。その他のワークロードは、現時点ではロールベースのアクセスではサポートされていません。

["Backup and Recovery ワークロードのロールベースアクセスの設定について詳しくは、こちらをご覧ください。"](#)

2026年1月13日

コンソールエージェント 4.3.0

4.3.0 リリースでは、標準モードと制限モードの両方がサポートされています。

コンソール エージェントのこのリリースには、セキュリティの改善、バグ修正、および次の機能が含まれています。

コンソールエージェントのネットワーク接続を検証する機能

接続された Console エージェントのネットワーク接続を NetApp Console から直接検証できるようになりました。この機能は、Console エージェントの接続性を検証し、問題のトラブルシューティングに役立ちます。これは、Console エージェントのメンテナンスコンソールのコマンドラインインターフェース (CLI) からネットワーク診断を実行できる既存の機能に加えて提供されます。

["NetApp Consoleから構成を実行する方法を学習します。"](#)

NetApp Console管理

このリリースには以下が含まれます。

NetApp Consoleでのフェデレーション グループに対するロールベースのアクセス

NetApp Consoleは、フェデレーション グループ (Active Directory グループなど) へのロールの割り当てをサポートしており、管理者は組織の ID プロバイダー (IdP) のグループ メンバーシップに基づいてユーザーのオンボーディングとオフボーディングを自動化できます。この機能により、管理オーバーヘッドが削減され、グループ メンバーシップの変更に応じてコンソール アクセスが即座に更新されるため、安全で一貫したアクセスが確保されます。

["組織にフェデレーション グループへのアクセスを提供する方法を学習します。"](#)

NetApp Consoleが制限モードの場合のフェデレーションのサポート

制限モードになっているNetApp Console組織に対してフェデレーションを有効にできるようになりました。これにより、ユーザーは制限モードのセキュリティ上の利点を維持しながら、企業の資格情報を使用してコンソールにログインできるようになります。

読み取り専用モード

NetApp Console組織を読み取り専用モードに設定できます。読み取り専用モードでは、ユーザーはリソースと設定を表示できますが、変更することはできません。組織管理者またはスーパー管理者は、組織に対して読み取り専用モードを有効にすることができます。読み取り専用モードが有効になっている場合、管理者ロールを持つユーザーは、必要に応じて変更を加えるために手動で権限を昇格する必要があります。

["コンソール組織で読み取り専用モードを有効にする方法を学習します。"](#)

["組織が読み取り専用モードの場合に役割を昇格させる方法を学習します。"](#)

2025年12月10日

コンソールエージェント 4.2.0

4.2.0 リリースでは、標準モードと制限モードの両方がサポートされています。

コンソール エージェントのこのリリースには、セキュリティの改善、バグ修正、および次の機能が含まれています。

Google Cloud Infrastructure Manager のサポート

NetApp、Google Cloud でエージェントをデプロイし、管理するために、Google Cloud Deployment Managerではなく Google Cloud Infrastructure Manager (IM) を使用するようになりました。この変更は、Googleが廃止する予定であるためです。["クラウドデプロイメントマネージャー"](#)。

- 4.2.0 以降の新しいエージェントはすべて Infrastructure Manager を使用するため、デプロイメントに使用するユーザー アカウントとサービス アカウントの両方の権限を更新する必要があります。["権限変更ログを表示します。"](#)
- エージェントをデプロイすると、デプロイ ファイルを保存するための Google Cloud バケットも作成されます。

コンソールエージェントの構成チェックの改善

- コンソール エージェントは、構成チェックを実行するときに、非推奨のエンドポイントをチェックするようになりました。4.0.0 以降の新しいエンドポイント リストに更新していない場合、システムが以前のエンドポイント リストにアクセスできる場合はインストールが成功します。["コンソール エージェントに必要なエンドポイントの詳細について説明します。"](#)
- コンソールまたはエージェントのメンテナンス コンソールからインストールされたコンソール エン

ントの構成チェックを実行し、接続を確認して問題をトラブルシューティングします。["コンソール エージェントで構成チェックを実行する方法を学習します。"](#)

NetApp Consoleからエージェントソフトウェアを直接ダウンロード

エージェントを手動でインストールする必要がある場合は、NetAppサポート サイトに加えて、NetApp Consoleから直接エージェント ソフトウェアにアクセスできます。["NetApp Consoleからコンソール エージェント ソフトウェアを直接ダウンロードする方法を説明します。"](#)

NetApp Console管理

このリリースには以下が含まれます。

資格情報の有効期限切れに関する通知を設定する機能

サービス アカウントとフェデレーションの資格情報の有効期限が切れた場合の通知を設定します。7日間または30日間から選択してください。コンソールに通知が表示され、適切なロールを持つユーザーに電子メールが送信されます。組織管理者はサービス アカウント通知を受け取ります。組織管理者、フェデレーション管理者、およびフェデレーション閲覧者はフェデレーション通知を受け取ります。

フェデレーションを有効にすると、ローカルログインは利用できなくなります

コンソール組織に対してフェデレーションを有効にすると、ユーザーはローカル ログインを使用できなくなり、フェデレーション ログインに送信されます。

ストレージ管理ページの使いやすさの向上

ONTAPオンプレミス システム (および FSx for ONTAP) に関する詳細情報を、ストレージ管理ページから簡単に表示および管理できるようになりました。

- **Discoverable systems** ページでは、利用可能なシステムのタブ表示から概要情報が分離されているため、検出可能なシステムに関する包括的な情報を簡単に表示できます。

2025年11月10日

コンソールエージェント 4.1.0

コンソール エージェントのこのリリースには、セキュリティの改善、バグ修正、および次の機能が含まれています。

4.1.0 リリースは、標準モードと制限モードで利用できます。

エージェントステータスインジケーターの名前を変更しました

コンソール エージェントのステータス インジケーターの名前を アクティブ と 非アクティブ から 接続済み と 切断済み に変更し、目的をより明確にしました。

Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 9.6 および Podman 5.4.0 のサポート

コンソール エージェントを手動でインストールする場合、エージェントは Podman 5.4.0 を搭載した RHEL 9.6 をサポートするようになりました。さらに、RHEL 9 以降を使用する場合、NetApp はpodman-compose 1.5.0 をサポートします。["オペレーティング システムの要件を表示"](#)。

NetApp Console管理

このリリースには以下が含まれます。

NetApp Console通知用の新しいメールアドレス

NetApp Console通知を送信する電子メール アドレスが **service@console.bluexp.netapp.com** から **service@console.netapp.com** に変更されました。NetApp、NetApp Consoleの電子メール通知を引き続き受信できるように、電子メール ルールを更新して **service@console.netapp.com** を許可することを推奨しています。

2025年10月6日

BlueXPはNetApp Consoleになりました

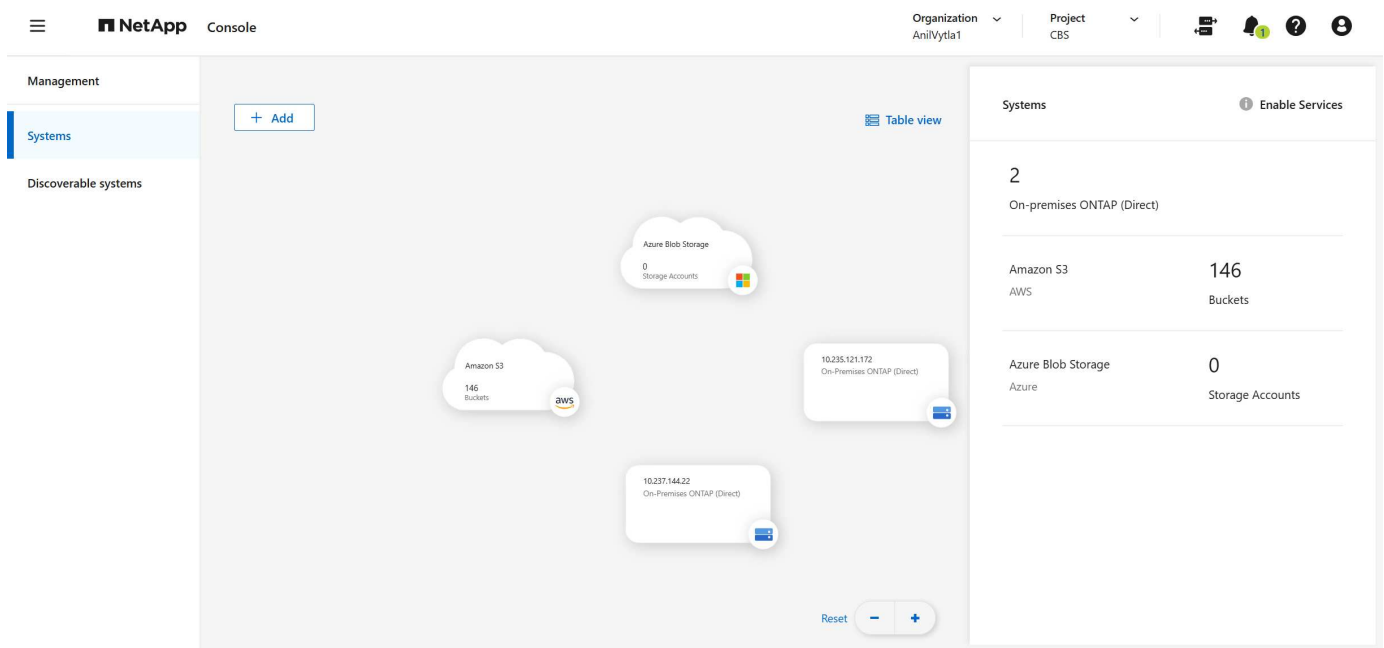
NetApp Consoleは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとNetApp Data Servicesの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、より高速なワークフロー、および高度に安全でコンプライアンスに準拠した簡素化された管理を実現します。

ナビゲーションメニューとページ

NetApp は、ほとんどのメニュー オプションを左側のナビゲーション ペインに移動し、メニューを再編成して、NetApp Consoleでのナビゲーションを容易にしました。

Canvasはシステムページに置き換えられました

NetApp は、Canvas の名前を **Systems** ページに変更しました。ストレージ > 管理 メニューから システム ページに移動します。



拡張ストレージメニュー

ストレージ メニューには、ONTAPシステムのアラートを表示するための アラート と、未使用または十分に活用されていないリソースを識別するための ライフサイクル プランニング (旧 経済効率) が含まれています。

NetApp はKeystone を*ストレージ* メニューに移動しました。ここで、NetApp Keystoneサブスクリプションを管理し、使用状況を表示できます。



Home

 **Storage** **Protection** **Governance** **Health** **Workloads** **Mobility** **Administration****Management**

Add and manage storage systems and enable data services.

Alerts

View and act on real-time system alerts for ONTAP on-premises systems.

Lifecycle planning

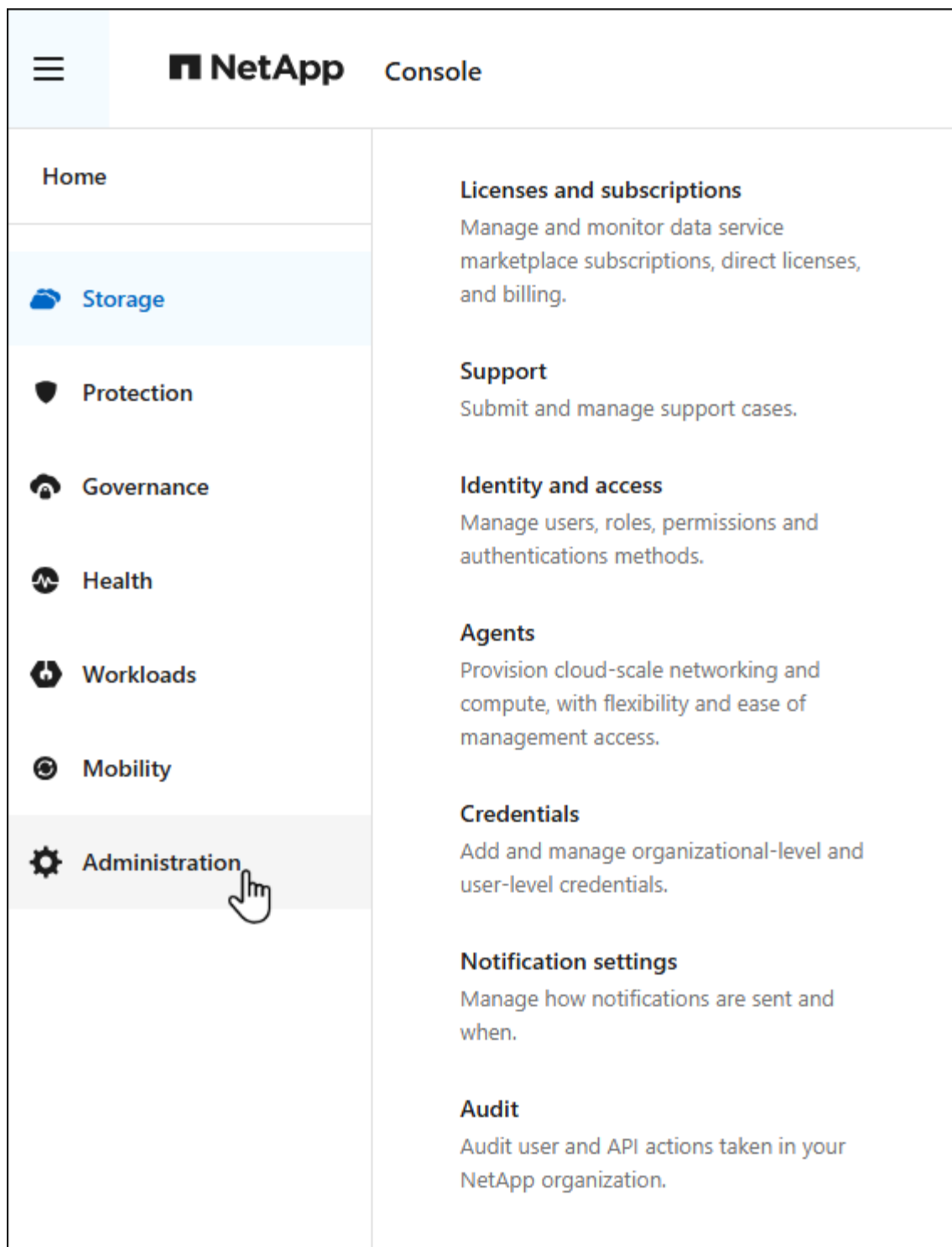
Receive recommendations for systems nearing capacity limits and systems approaching the end of their service life.

Keystone

Scale storage with flexible subscriptions that support hybrid multi-cloud environments.

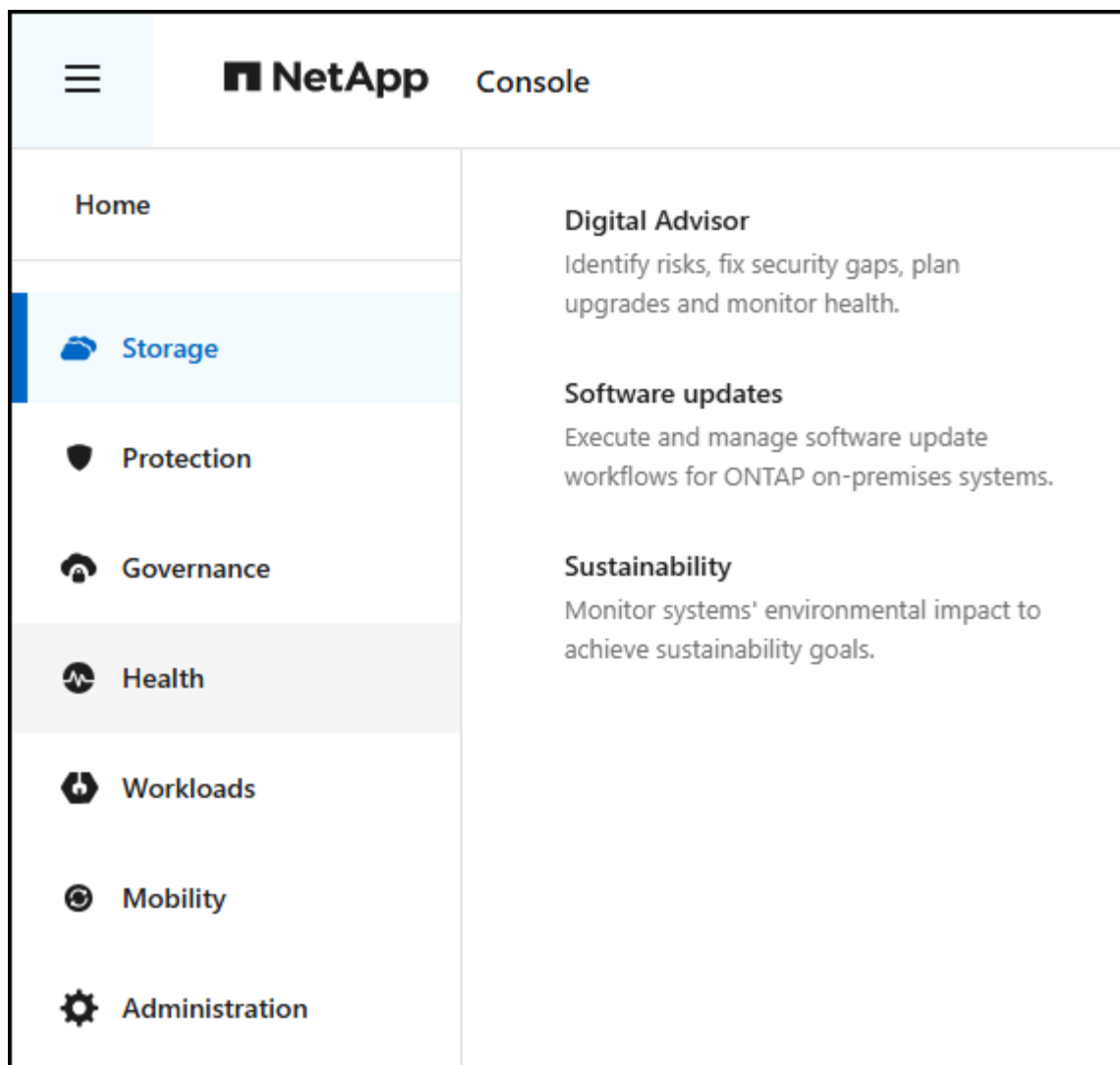
管理メニュー

一元化された 管理 メニューを使用して、NetApp Console、サポート ケース、ライセンス、サブスクリプション (以前はデジタル ウォレットと呼ばれていました) を管理します。



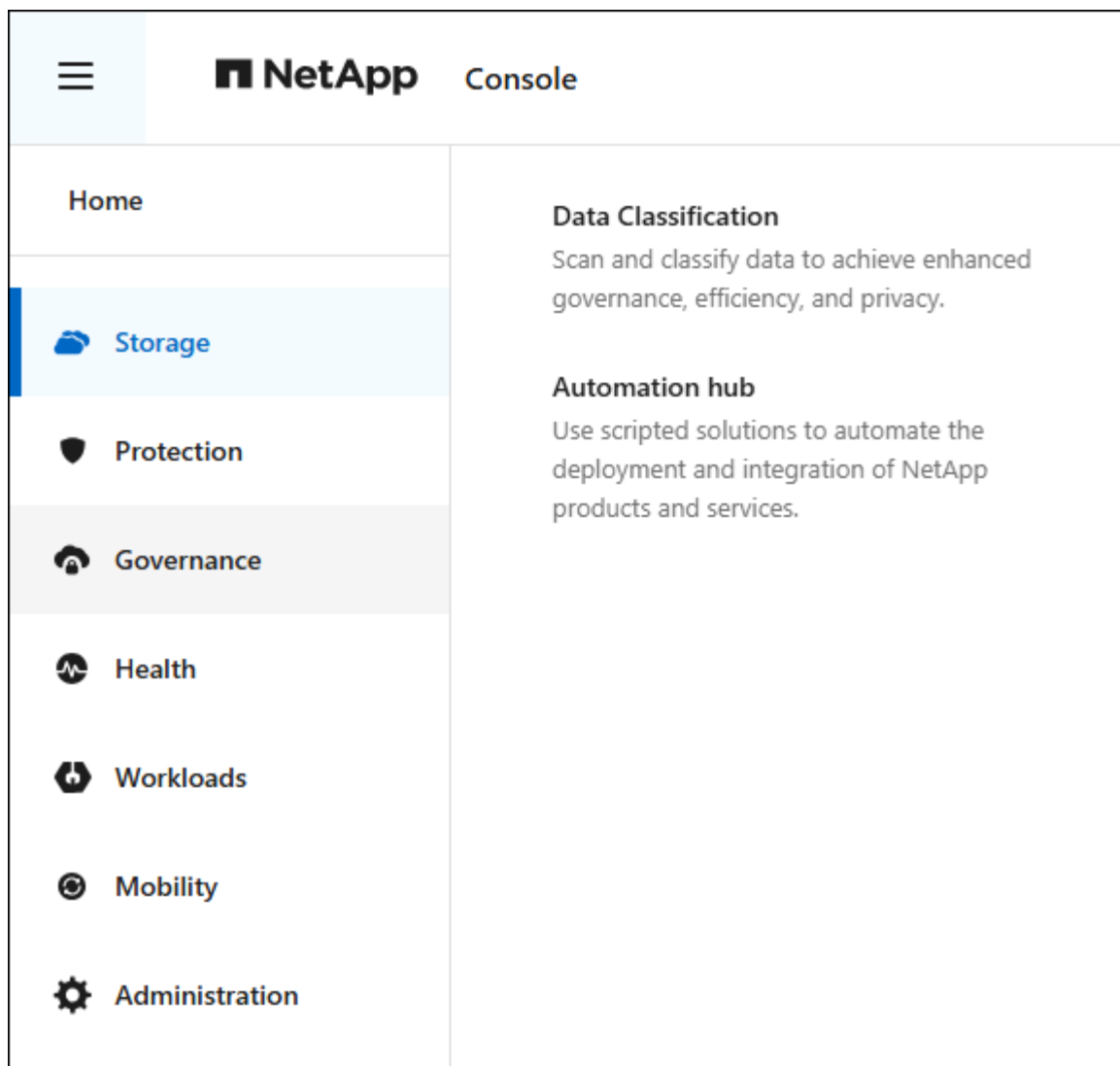
健康メニュー

効率的な **Health** メニューには、ONTAPソフトウェアの更新を管理できる **Software updates**、環境への影響を監視できる **Sustainability**、ストレージ環境を最適化するためのプロアクティブな推奨事項を得られる * **Digital Advisor*** が含まれます。



ガバナンスメニュー

ガバナンス メニューには、データ分類とコンプライアンスを管理できる データ分類 と、自動化ワークフローを作成して管理できる 自動化ハブ が含まれています。



要素、データサービス、機能のより直感的な命名

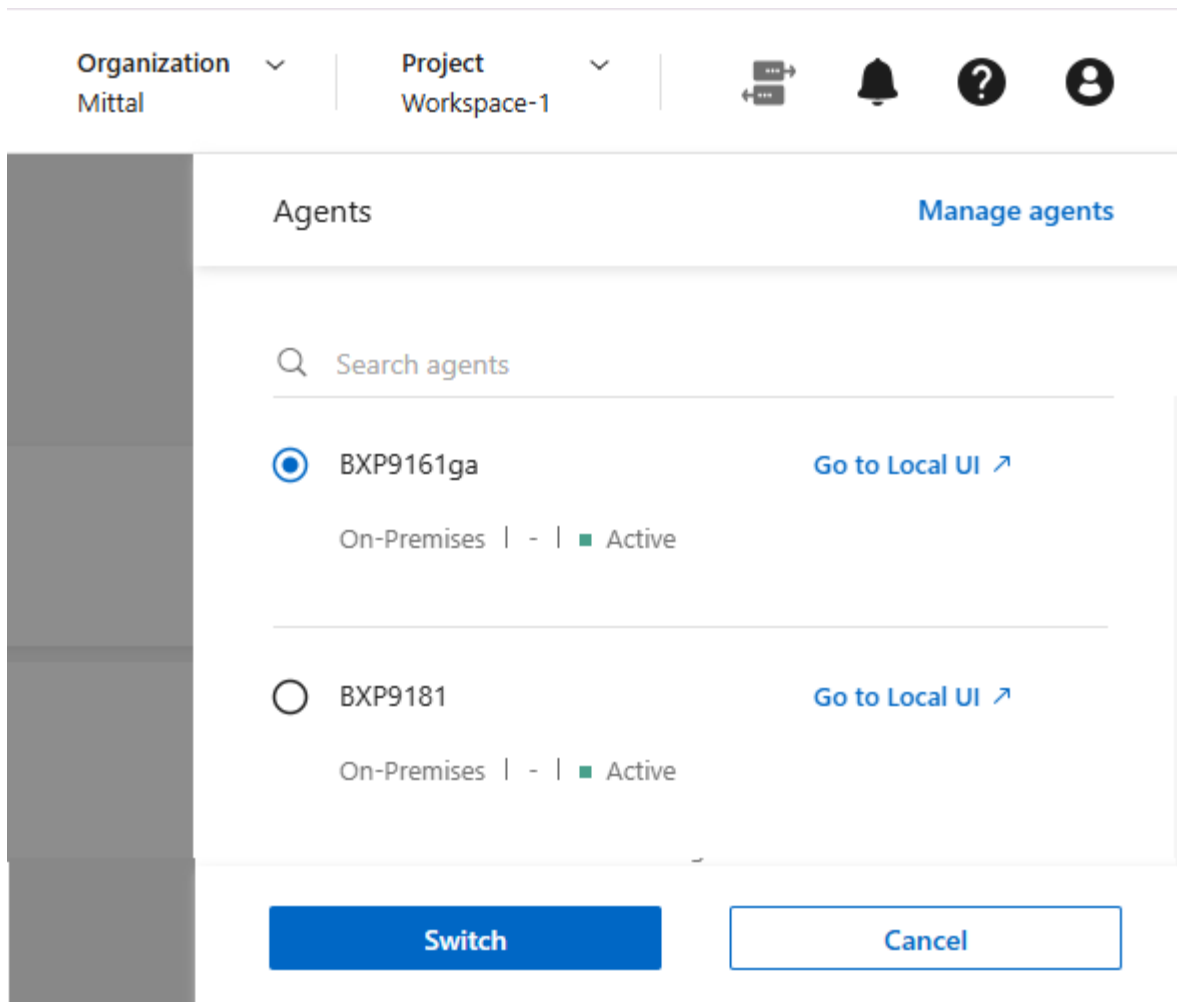
NetApp は、目的を明確にするために、いくつかの要素、データ サービス、および機能の名前を変更しました。主な変更点は次のとおりです。

以前の名前	* NetApp Console名*
コネクタ	コンソールエージェント。 管理 > エージェント メニューからエージェントを表示、追加、管理します。
タイムラインページ	監査ページ 管理 > 監査 メニューから監査コンソールのアクティビティを表示します。
労働環境	システム ストレージ > 管理 メニューからシステムを表示、追加、管理します。

以前の名前	* NetApp Console名*
BlueXP ランサムウェア対策	NetApp Ransomware Resilience。 ランサムウェア耐性は、データを保護し、ランサムウェア攻撃から迅速に回復するのに役立ちます。
BlueXPの経済効率	ライフサイクル計画。 ライフサイクル プランニングは、未使用および十分に活用されていないリソースを特定することで、ストレージ コストを最適化するのに役立ちます。 ストレージ > ライフサイクル プランニング メニューからライフサイクル プランニングにアクセスします。
BlueXP digital wallet	Licenses and subscriptions 管理 > Licenses and subscriptions メニューからライセンスとサブスクリプションにアクセスします。

コンソールエージェント

管理 > エージェント メニューからコンソール エージェントにアクセスして管理します。 NetApp は、**Systems** ページ (以前の Canvas) のコンソール エージェントの選択方法を変更しました。 NetAppはコネクタメニュー名をアイコンに置き換えました 、システムを表示するコンソール エージェントを選択できます。



管理 > エージェント メニューからエージェントを管理することもできます。

コンソールエージェント 4.0.0

このコンソール エージェントのリリースには、セキュリティの改善、バグ修正、および次の新機能が含まれています。

4.0.0 リリースは、標準モードと制限モードで利用できます。

必要なネットワークエンドポイントの統合と削減

NetApp は、コンソールとコンソール エージェントに必要なネットワーク エンドポイントを削減し、セキュリティを強化して導入を簡素化しました。重要なのは、バージョン 4.0.0 より前のすべてのデプロイメントが引き続き完全にサポートされていることです。以前のエンドポイントは既存のエージェントで引き続き使用できますが、NetApp、エージェントのアップグレードが成功したことを確認した後、ファイアウォール ルールを現在のエンドポイントに更新することを強くお勧めします。

- "エンドポイントリストを更新して比較を表示する方法を学びます"。
- "必要なエンドポイントの詳細について説明します。"

コンソールエージェントの **VCenter** 展開のサポート

OVA ファイルを使用して、VMware 環境にコンソール エージェントを展開できます。OVA ファイルには、コンソール エージェント ソフトウェアと NetApp Console に接続するための設定が含まれた、事前構成された VM イメージが含まれています。ファイルのダウンロードまたは URL の展開は、NetApp Console から直接行えます。"[VMware 環境にコンソール エージェントを展開する方法を学習します。](#)"

VMware 用コンソール エージェント OVA は、迅速な展開のために事前構成された VM イメージを提供します。

失敗したエージェントの展開に関する検証レポート

NetApp Console からコンソール エージェントを展開するときに、エージェント構成を検証するオプションが追加されました。コンソールがエージェントの展開に失敗した場合、トラブルシューティングに役立つダウンロード可能なレポートが提供されます。

コンソールエージェントのトラブルシューティングの改善

コンソール エージェントでは、問題をよりよく理解するのに役立つエラー メッセージが改善されました。"[コンソール エージェントのトラブルシューティング方法を学習します。](#)"

NetApp Console

NetApp Console 管理には、次の新機能が含まれています。

ホームページダッシュボード

NetApp コンソールのホーム ページ ダッシュボードでは、ヘルス、容量、ライセンス ステータス、データ サービスのメトリックを使用して、ストレージ インフラストラクチャのリアルタイムの可視性が提供されます。"[ホーム ページの詳細をご覧ください。](#)"

NetApp アシスタント

組織管理者ロールを持つ新規ユーザーは、NetApp アシスタントを使用して、エージェントの追加、NetApp サポート アカウントのリンク、ストレージ システムの追加など、コンソールを構成できます。"[NetApp アシスタントについて学習します。](#)"

サービスアカウント認証

NetApp Console は、システム生成のクライアント ID とシークレット、または顧客管理の JWT を使用したサービス アカウント認証をサポートしているため、組織はセキュリティ要件と統合ワークフローに最適なアプローチを選択できます。秘密鍵 JWT クライアント認証では非対称暗号化が使用され、従来のクライアント ID や秘密方式よりも強力なセキュリティが提供されます。秘密鍵 JWT クライアント認証では非対称暗号化が使用され、顧客の環境で秘密鍵が安全に保たれ、資格情報の盗難リスクが軽減され、自動化スタックとクライアント アプリケーションのセキュリティが向上します。"[サービス アカウントを追加する方法について説明します。](#)"

セッション タイムアウト

システムは、24 時間後またはユーザーが Web ブラウザを閉じるとユーザーをログアウトします。

組織間のパートナーシップのサポート

NetApp Consoleでパートナーシップを作成すると、パートナーは組織の境界を越えてNetAppリソースを安全に管理できるため、コラボレーションが容易になり、セキュリティが強化されます。["パートナーシップの管理方法を学ぶ"](#)。

スーパー管理者とスーパー閲覧者の役割

スーパー管理者 と スーパー閲覧者 の役割を追加しました。スーパー管理者 は、コンソールの機能、ストレージ、およびデータ サービスへの完全な管理アクセス権を付与します。スーパー ビューアー は、監査人および関係者に読み取り専用の可視性を提供します。これらの役割は、幅広いアクセス権が一般的である上級メンバーの小規模チームに役立ちます。セキュリティと監査可能性を向上させるために、組織では スーパー管理者 アクセスを控えめに使用し、可能な場合はきめ細かな役割を割り当てることが推奨されます。["アクセス ロールの詳細について説明します。"](#)

ランサムウェア耐性に関する追加の役割

ランサムウェア耐性ユーザー行動管理者 ロールと ランサムウェア耐性ユーザー行動閲覧者 ロールが追加されました。これらのロールにより、ユーザーはそれぞれユーザーの行動と分析データを構成および表示できます。["アクセス ロールの詳細について説明します。"](#)

サポートチャットを削除しました

NetApp は、NetApp Consoleからサポート チャット機能を削除しました。管理 > サポート ページを使用して、サポート ケースを作成および管理します。

2025年8月11日

コネクタ 3.9.55

BlueXPコネクタのこのリリースには、セキュリティの改善とバグ修正が含まれています。

3.9.55 リリースは、標準モードと制限モードで利用できます。

日本語サポート

BlueXP UI が日本語で利用できるようになりました。ブラウザの言語が日本語の場合、BlueXP は日本語で表示されます。日本語のドキュメントにアクセスするには、ドキュメント Web サイトの言語メニューを使用します。

運用回復力機能

運用回復力機能はBlueXPから削除されました。問題が発生した場合は、NetAppサポートにお問い合わせください。

BlueXPアイデンティティおよびアクセス管理 (IAM)

BlueXPの ID およびアクセス管理では、次の機能が提供されるようになりました。

運用サポートのための新しいアクセスロール

BlueXP は、運用サポートアナリストの役割をサポートするようになりました。このロールは、ストレージアラートを監視し、BlueXP 監査タイムラインを表示し、NetApp サポートケースを入力および追跡する権限をユーザーに付与します。

["アクセス ロールの使用について詳しく学習します。"](#)

2025年7月31日

プライベートモードリリース (3.9.54)

新しいプライベートモードリリースがダウンロード可能になりました。 ["NetApp サポート サイト"](#)

3.9.54 リリースには、次のBlueXPコンポーネントとサービスの更新が含まれています。

コンポーネントまたはサービス	このリリースに含まれるバージョン	前回のプライベートモードリリース以降の変更点
コネクタ	3.9.54、3.9.53	に行く "BlueXP ページの新着情報" バージョン 3.9.54 および 3.9.53 に含まれる変更を参照してください。
バックアップとリカバリ	2025年7月28日	に行く "BlueXP backup and recovery ページの新機能" 2025 年 7 月のリリースに含まれる変更点を参照してください。
分類	2025年7月14日 (バージョン1.45)	に行く "BlueXP classification ページの新機能" 。

プライベート モードの詳細（アップグレード方法を含む）については、以下を参照してください。

- ["プライベートモードについて学ぶ"](#)
- ["プライベートモードでBlueXPを始める方法を学ぶ"](#)
- ["プライベートモード使用時にコネクタをアップグレードする方法を学びます"](#)

2025年7月21日

Google Cloud NetApp Volumes のサポート

BlueXP で Google Cloud NetApp Volumes を表示できるようになりました。 ["Google Cloud NetApp Volumes の詳細をご覧ください。"](#)

BlueXP アイデンティティおよびアクセス管理 (IAM)

Google Cloud NetApp Volumes の新しいアクセスロール

BlueXP では、次のストレージ システムへのアクセス ロールの使用がサポートされるようになりました。

- Google Cloud NetApp Volumes

["アクセス ロールの使用について詳しく学習します。"](#)

2025年7月14日

コネクタ 3.9.54

BlueXPコネクタのこのリリースには、セキュリティの改善、バグ修正、および次の新機能が含まれています。

- Cloud Volumes ONTAPサービスのサポート専用のコネクタの透過プロキシのサポート。["透過プロキシの構成について詳しく学びます。"](#)
- コネクタが Google Cloud 環境にデプロイされているときに、ネットワーク タグを使用してコネクタ トラフィックをルーティングする機能。
- CPU および RAM の使用状況を含む、コネクタのヘルス監視に関する追加の製品内通知。

現時点では、3.9.54 リリースは標準モードと制限モードで利用できます。

BlueXPアイデンティティおよびアクセス管理 (IAM)

BlueXPの ID およびアクセス管理では、次の機能が提供されるようになりました。

- プライベート モードでの IAM のサポートにより、BlueXPサービスおよびアプリケーションに対するユーザー アクセスと権限を管理できます。
- より簡単なナビゲーション、フェデレーション接続を構成するためのより明確なオプション、既存のフェデレーションの可視性の向上など、ID フェデレーションの管理が合理化されます。
- BlueXP backup and recovery、BlueXP disaster recovery、およびフェデレーション管理のアクセス ロール。

プライベートモードでのIAMのサポート

BlueXP はプライベート モードで IAM をサポートするようになり、BlueXPサービスとアプリケーションに対するユーザー アクセスと権限を管理できるようになりました。この機能強化により、プライベート モードのお客様は、ロールベースのアクセス制御 (RBAC) を活用して、セキュリティとコンプライアンスを強化できます。

["BlueXPの IAM について詳しく学びます。"](#)

アイデンティティ連携の合理化された管理

BlueXPでは、ID フェデレーションを管理するためのより直感的なインターフェースが提供されるようになりました。これには、より簡単なナビゲーション、フェデレーション接続を構成するためのより明確なオプション、既存のフェデレーションの可視性の向上が含まれます。

ID フェデレーションを通じてシングル サインオン (SSO) を有効にすると、ユーザーは企業の資格情報を使用してBlueXPにログインできるようになります。これにより、セキュリティが向上し、パスワードの使用が減り、オンボーディングが簡素化されます。

新しい管理機能にアクセスするには、既存のフェデレーション接続を新しいインターフェースにインポートするように求められます。これにより、フェデレーション接続を再作成することなく、最新の拡張機能を活用できるようになります。["既存のフェデレーション接続をBlueXPにインポートする方法の詳細について説明します。"](#)

改善されたフェデレーション管理により、次のことが可能になります。

- フェデレーション接続に複数の検証済みドメインを追加すると、同じ ID プロバイダー (IdP) で複数のドメインを使用できるようになります。
- 必要に応じてフェデレーション接続を無効化または削除し、ユーザー アクセスとセキュリティを制御できます。
- IAM ロールを使用してフェデレーション管理へのアクセスを制御します。

["BlueXPの ID フェデレーションの詳細をご覧ください。"](#)

BlueXP backup and recovery、BlueXP disaster recovery、およびフェデレーション管理の新しいアクセス ロール

BlueXPでは、次の機能とデータ サービスに対する IAM ロールの使用がサポートされるようになりました。

- BlueXP backup and recovery
- BlueXP disaster recovery
- フェデレーション

["アクセス ロールの使用について詳しく学習します。"](#)

2025年6月9日

コネクタ 3.9.53

BlueXPコネクタのこのリリースには、セキュリティの改善とバグ修正が含まれています。

3.9.53 リリースは、標準モードと制限モードで利用できます。

ディスク容量使用状況アラート

通知センターに、コネクタのディスク領域の使用状況に関するアラートが含まれるようになりました。["詳細情報"](#)

監査の改善

タイムラインに、ユーザーのログイン イベントとログアウト イベントが含まれるようになりました。ログインアクティビティがいつ行われたかを確認できるため、監査やセキュリティ監視に役立ちます。組織管理者のロールを持つAPIユーザーは、次の情報を含めることでログインしたユーザーのメールアドレスを表示できます。

`includeUserData=true`パラメータは次のようになります。`
``/audit/<account_id>?includeUserData=true。`

BlueXPでKeystoneサブスクリプション管理が利用可能

BlueXPからNetApp Keystoneサブスクリプションを管理できます。

["BlueXPでのKeystoneサブスクリプション管理について学習します。"](#)

BlueXPアイデンティティおよびアクセス管理 (IAM)

多要素認証 (MFA)

非フェデレーション ユーザーは、BlueXPアカウントに対して MFA を有効にしてセキュリティを強化できます。管理者は、必要に応じてユーザーの MFA をリセットまたは無効化するなど、MFA 設定を管理できます。これは標準モードでのみサポートされます。

["自分自身に多要素認証を設定する方法について説明します。"](#) ["ユーザーに対する多要素認証の管理について学習します。"](#)

ワークロード

BlueXPの認証情報ページからAmazon FSx for NetApp ONTAP の認証情報を表示および削除できるようになりました。

2025年5月29日

プライベートモードリリース (3.9.52)

新しいプライベートモードリリースがダウンロード可能になりました。 ["NetAppサポート サイト"](#)

3.9.52 リリースには、次のBlueXPコンポーネントとサービスの更新が含まれています。

コンポーネントまたはサービス	このリリースに含まれるバージョン	前回のプライベートモードリリース以降の変更点
コネクタ	3.9.52、3.9.51	に行く "BlueXPコネクタページの新機能" バージョン 3.9.52 および 3.9.50 に含まれる変更を参照してください。
バックアップとリカバリ	2025年5月12日	に行く "BlueXP backup and recoveryページの新機能" 2025 年 5 月のリリースに含まれる変更点を参照してください。
分類	2025年5月12日 (バージョン1.43)	に行く "BlueXP classificationページの新機能" 1.38 から 1.371.41 リリースに含まれる変更を参照してください。

プライベート モードの詳細（アップグレード方法を含む）については、以下を参照してください。

- ["プライベートモードについて学ぶ"](#)
- ["プライベートモードでBlueXPを始める方法を学ぶ"](#)
- ["プライベートモード使用時にコネクタをアップグレードする方法を学びます"](#)

2025年5月12日

コネクタ 3.9.52

BlueXPコネクタのこのリリースには、マイナーなセキュリティの改善とバグ修正、およびいくつかの追加の更新が含まれています。

現時点では、3.9.52 リリースは標準モードと制限モードで利用できます。

Docker 27 および Docker 28 のサポート

コネクタでは Docker 27 と Docker 28 がサポートされるようになりました。

Cloud Volumes ONTAP

コネクタがコンプライアンス違反になったり、14 日以上ダウンしたりしても、Cloud Volumes ONTAP ノードはシャットダウンしなくなりました。Cloud Volumes ONTAP は、コネクタへのアクセスを失った場合でも、イベント管理メッセージを送信します。この変更は、コネクタが長時間ダウンした場合でも、Cloud Volumes ONTAP が引き続き動作できるようにするためです。コネクタのコンプライアンス要件は変更されません。

BlueXPでKeystone管理が利用可能

BlueXPのNetApp Keystoneベータ版では、Keystone管理へのアクセスが追加されました。BlueXPの左側のナビゲーションバーから、NetApp Keystoneベータ版のサインアップ ページにアクセスできます。

BlueXPアイデンティティおよびアクセス管理 (IAM)

新しいストレージ管理の役割

ストレージ管理者、システム正常性スペシャリスト、ストレージ閲覧者の役割が利用可能であり、ユーザーに割り当てることができます。

これらのロールを使用すると、組織内のどのユーザーがストレージ リソースを検出および管理できるかを管理できるほか、ストレージの正常性情報を表示したり、ソフトウェアの更新を実行したりすることもできます。

これらのロールは、次のストレージ リソースへのアクセスを制御するためにサポートされています。

- Eシリーズシステム
- StorageGRIDシステム
- オンプレミスのONTAPシステム

これらのロールを使用して、次のBlueXPサービスへのアクセスを制御することもできます。

- ソフトウェアアップデート
- デジタルアドバイザー
- 運用の回復力
- 経済効率
- 持続可能性

次のロールが追加されました:

- ストレージ管理者

組織内のストレージ リソースのストレージの健全性、ガバナンス、検出を管理します。このロールは、ストレージ リソースのソフトウェア更新も実行できます。

- システムヘルススペシャリスト

組織内のストレージ リソースのストレージの健全性とガバナンスを管理します。このロールは、ストレージ リソースのソフトウェア更新も実行できます。このロールでは、作業環境を変更または削除することはできません。

- ストレージビューア

ストレージの健全性情報とガバナンス データを表示します。

["アクセス ロールについて学習します。"](#)

2025年4月14日

コネクタ 3.9.51

BlueXPコネクタのこのリリースには、マイナーなセキュリティの改善とバグ修正が含まれています。

現時点では、3.9.51 リリースは標準モードと制限モードで利用できます。

コネクタダウンロード用の安全なエンドポイントが、バックアップとリカバリ、およびランサムウェア保護でサポートされるようになりました

バックアップとリカバリまたはランサムウェア保護を使用している場合は、コネクタのダウンロードに安全なエンドポイントを使用できるようになりました。["コネクタのダウンロードのための安全なエンドポイントについて説明します。"](#)

BlueXPアイデンティティおよびアクセス管理 (IAM)

- 組織管理者、フォルダ管理者、またはプロジェクト管理者の権限がないユーザーには、ランサムウェア保護にアクセスするために、ランサムウェア保護ロールを割り当てる必要があります。ユーザーには、ランサムウェア保護管理者またはランサムウェア保護閲覧者の 2 つのロールのいずれかを割り当てる必要があります。
- 組織管理者、フォルダー管理者、またはプロジェクト管理者の権限を持たないユーザーには、Keystone にアクセスするためのKeystoneロールを割り当てる必要があります。ユーザーには、Keystone管理者またはKeystoneビューアーのいずれかのロールを割り当てる必要があります。

["アクセス ロールについて学習します。"](#)

- 組織管理者、フォルダ管理者、またはプロジェクト管理者のロールを持っている場合は、Keystoneサブスクリプションを IAM プロジェクトに関連付けることができるようになりました。Keystoneサブスクリプションを IAM プロジェクトに関連付けると、BlueXP内でKeystoneへのアクセスを制御できるようになります。

2025年3月28日

プライベートモードリリース (3.9.50)

新しいプライベートモードリリースがダウンロード可能になりました。 ["NetAppサポート サイト"](#)

3.9.50 リリースには、次のBlueXPコンポーネントとサービスの更新が含まれています。

コンポーネントまたはサービス	このリリースに含まれるバージョン	前回のプライベートモードリリース以降の変更点
コネクタ	3.9.50、3.9.49	に行く "BlueXPコネクタページの新機能" バージョン 3.9.50 および 3.9.49 に含まれる変更を参照してください。
バックアップとリカバリ	2025年3月17日	に行く "BlueXP backup and recoveryページの新機能" 2024 年 3 月のリリースに含まれる変更点を参照してください。
分類	2025年3月10日 (バージョン1.41)	に行く "BlueXP classificationページの新機能" 1.38 から 1.371.41 リリースに含まれる変更を参照してください。

プライベート モードの詳細（アップグレード方法を含む）については、以下を参照してください。

- ["プライベートモードについて学ぶ"](#)
- ["プライベートモードでBlueXPを始める方法を学ぶ"](#)
- ["プライベートモード使用時にコネクタをアップグレードする方法を学びます"](#)

2025年3月10日

コネクタ 3.9.50

BlueXPコネクタのこのリリースには、マイナーなセキュリティの改善とバグ修正が含まれています。

- Cloud Volumes ONTAPシステムの管理は、オペレーティング システムで SELinux が有効になっているコネクタによってサポートされるようになりました。

["SELinuxについて詳しく知る"](#)

現時点では、3.9.50 リリースは標準モードと制限モードで利用できます。

NetApp Keystoneベータ版がBlueXPで利用可能に

NetApp Keystone はまもなくBlueXPから入手可能になり、現在はベータ版です。BlueXPの左側のナビゲーション バーから、 NetApp Keystoneベータ版のサインアップ ページにアクセスできます。

2025年3月6日

コネクタ 3.9.49 アップデート

BlueXPがコネクタを使用する場合のONTAP System Managerアクセス

BlueXP管理者 (組織管理者ロールを持つユーザー) は、ONTAPシステム マネージャーにアクセスするためにユーザーにONTAP資格情報の入力を求めるようにBlueXPを設定できます。この設定を有効にすると、ONTAP認証情報はBlueXPに保存されないため、ユーザーは毎回ONTAP認証情報を入力する必要があります。

この機能は、コネクタ バージョン 3.9.49 以降で利用できます。["資格情報設定を構成する方法を学習します。"](#)

2025年2月18日

プライベートモードリリース (3.9.48)

新しいプライベートモードリリースがダウンロード可能になりました。["NetAppサポート サイト"](#)

3.9.48 リリースには、次のBlueXPコンポーネントとサービスの更新が含まれています。

コンポーネントまたはサービス	このリリースに含まれるバージョン	前回のプライベートモードリリース以降の変更点
コネクタ	3.9.48	に行く "BlueXPコネクタページの新機能" バージョン 3.9.48 に含まれる変更を参照してください。
バックアップとリカバリ	2025年2月21日	に行く "BlueXP backup and recoveryページの新機能" 2025 年 2 月のリリースに含まれる変更点を参照してください。
分類	2025年1月22日 (バージョン1.39)	に行く "BlueXP classificationページの新機能" 1.39 リリースに含まれる変更点を参照してください。

2025年2月10日

コネクタ 3.9.49

BlueXPコネクタのこのリリースには、マイナーなセキュリティの改善とバグ修正が含まれています。

現時点では、3.9.49 リリースは標準モードと制限モードで利用できます。

BlueXPアイデンティティおよびアクセス管理 (IAM)

- BlueXPユーザーに複数のロールを割り当てるためのサポート。
- BlueXP組織 (Org/フォルダ/プロジェクト) の複数のリソースにロールを割り当てるためのサポート
- ロールは現在、プラットフォームとデータ サービスの 2 つのカテゴリのいずれかに関連付けられています。

制限モードでは**BlueXP IAM**が使用されるようになりました

BlueXP ID およびアクセス管理 (IAM) が制限モードで使用されるようになりました。

BlueXP ID およびアクセス管理 (IAM) は、BlueXP を標準モードおよび制限モードで使用するときにBlueXP アカウントによって提供されていた以前の機能を置き換え、強化するリソースおよびアクセス管理モデルです。

関連情報

- ["BlueXP IAMについて学ぶ"](#)
- ["BlueXP IAMを使い始める"](#)

BlueXP IAM は、リソースと権限のよりきめ細かな管理を提供します。

- 最上位の組織を使用すると、さまざまなプロジェクト間のアクセスを管理できます。
- _フォルダー_を使用すると、関連するプロジェクトをグループ化できます。
- 強化されたリソース管理により、リソースを 1 つ以上のフォルダーまたはプロジェクトに関連付けることができます。

たとえば、Cloud Volumes ONTAPシステムを複数のプロジェクトに関連付けることができます。

- 強化されたアクセス管理により、組織階層のさまざまなレベルのメンバーにロールを割り当てることができます。

これらの機能強化により、ユーザーが実行できるアクションやアクセスできるリソースをより適切に制御できるようになります。

BlueXP IAM が制限モードの既存アカウントに与える影響

BlueXPにログインすると、次の変更気付くでしょう。

- あなたの _アカウント_ は _組織_ と呼ばれるようになりました
- _ワークスペース_ は _プロジェクト_ と呼ばれるようになりました
- ユーザー ロールの名前が変更されました。
 - アカウント管理者 が 組織管理者 になりました
 - ワークスペース管理者 が フォルダーまたはプロジェクト管理者 になりました
 - コンプライアンス ビューア は 分類ビューア に変更されました
- 設定からBlueXPのIDとアクセス管理にアクセスして、これらの拡張機能を活用できます。

次の点に注意してください。

- 既存のユーザーや作業環境に変更はありません。
- ロールの名前は変更されていますが、権限の観点からは違いはありません。ユーザーは引き続き、以前と同じ作業環境にアクセスできます。
- BlueXPへのログイン方法に変更はありません。BlueXP IAM は、BlueXPアカウントと同様に、NetApp クラウド ログイン、NetAppサポート サイトの資格情報、およびフェデレーション接続で動作します。
- 複数のBlueXPアカウントをお持ちの場合は、複数のBlueXP組織が存在することになります。

BlueXP IAM の API

この変更により、BlueXP IAM の新しい API が導入されますが、以前のテナンシー API との下位互換性があります。 ["BlueXP IAMのAPIについて学ぶ"](#)

サポートされている展開モード

BlueXP IAM は、BlueXP を標準モードおよび制限モードで使用する場合にサポートされます。BlueXP をプライベート モードで使用している場合は、引き続きBlueXP _アカウント_を使用してワークスペース、ユーザー、およびリソースを管理します。

プライベートモードリリース (3.9.48)

新しいプライベートモードリリースがダウンロード可能になりました。 ["NetAppサポート サイト"](#)

3.9.48 リリースには、次のBlueXPコンポーネントとサービスの更新が含まれています。

コンポーネントまたはサービス	このリリースに含まれるバージョン	前回のプライベートモードリリース以降の変更点
コネクタ	3.9.48	に行く "BlueXPコネクタページの新機能" バージョン 3.9.48 に含まれる変更を参照してください。
バックアップとリカバリ	2025年2月21日	に行く "BlueXP backup and recoveryページの新機能" 2025 年 2 月のリリースに含まれる変更点を参照してください。
分類	2025年1月22日 (バージョン1.39)	に行く "BlueXP classificationページの新機能" 1.39 リリースに含まれる変更点を参照してください。

2025年1月13日

コネクタ 3.9.48

BlueXPコネクタのこのリリースには、マイナーなセキュリティの改善とバグ修正が含まれています。

現時点では、3.9.48 リリースは標準モードと制限モードで利用できます。

BlueXPアイデンティティおよびアクセス管理

- リソース ページに、未検出のリソースが表示されるようになりました。未検出のリソースとは、BlueXP が認識しているものの、作業環境が作成されていないストレージ リソースです。たとえば、デジタル アドバイザーに表示されるリソースのうち、まだ作業環境がないものは、未検出のリソースとしてリソース ページに表示されます。
- Amazon FSx for NetApp ONTAPリソースは、IAM ロールに関連付けることができないため、IAM リソース ページには表示されません。これらのリソースは、それぞれのキャンパスまたはワークロードから表示できます。

追加のBlueXPサービスのサポートケースを作成する

BlueXP をサポートに登録すると、BlueXP のWeb ベース コンソールから直接サポート ケースを作成できま

す。ケースを作成するときは、問題が関連付けられているサービスを選択する必要があります。

このリリースから、サポート ケースを作成し、追加のBlueXPサービスに関連付けることができるようになりました。

- BlueXP disaster recovery
- BlueXPランサムウェア対策サービス

["サポートケースの作成について詳しくは"](#)。

2024年12月16日

コネクタイメージを取得するための新しい安全なエンドポイント

コネクタをインストールするとき、または自動アップグレードが発生するとき、コネクタはリポジトリに接続して、インストールまたはアップグレード用のイメージをダウンロードします。デフォルトでは、コネクタは常に次のエンドポイントに接続します。

- https://*.blob.core.windows.net
- <https://cloudmanagerinfraproduct.azurecr.io>

明確な場所を指定できないため、最初のエンドポイントにはワイルドカードが含まれます。リポジトリの負荷分散はサービス プロバイダーによって管理されるため、ダウンロードはさまざまなエンドポイントから発生する可能性があります。

セキュリティ強化のため、コネクタは専用エンドポイントからインストール イメージとアップグレード イメージをダウンロードできるようになりました。

- <https://bluexpinfraeastus2.data.azurecr.io>
- <https://bluexpinfra.azurecr.io>

ファイアウォール ルールから既存のエンドポイントを削除し、新しいエンドポイントを許可して、これらの新しいエンドポイントの使用を開始することをお勧めします。

これらの新しいエンドポイントは、コネクタの 3.9.47 リリース以降でサポートされます。コネクタの以前のリリースとの下位互換性はありません。

次の点に注意してください。

- 既存のエンドポイントは引き続きサポートされます。新しいエンドポイントを使用しない場合は、変更は必要ありません。
- コネクタはまず既存のエンドポイントに接続します。これらのエンドポイントにアクセスできない場合、コネクタは自動的に新しいエンドポイントに接続します。
- 新しいエンドポイントは、次のシナリオではサポートされません。
 - コネクタが政府地域にインストールされている場合。
 - コネクタをBlueXP backup and recoveryまたはBlueXP ransomware protectionと併用する場合。

どちらのシナリオでも、既存のエンドポイントを引き続き使用できます。

2024年12月9日

コネクタ 3.9.47

BlueXPコネクタのこのリリースには、バグ修正と、コネクタのインストール中に接続されるエンドポイントの変更が含まれています。

現時点では、3.9.47 リリースは標準モードと制限モードで利用できます。

インストール中にNetAppサポートに連絡するエンドポイント

コネクタを手動でインストールすると、インストーラはhttps://support.netapp.com.に接続しなくなります。

インストーラーは依然としてhttps://mysupport.netapp.com.に接続します

BlueXPアイデンティティおよびアクセス管理

コネクタ ページには、現在利用可能なコネクタのみがリストされます。削除したコネクタは表示されなくなります。

2024年11月26日

プライベートモードリリース (3.9.46)

新しいプライベートモードリリースがダウンロード可能になりました。 ["NetAppサポート サイト"](#)

3.9.46 リリースには、次のBlueXPコンポーネントとサービスの更新が含まれています。

コンポーネントまたはサービス	このリリースに含まれるバージョン	前回のプライベートモードリリース以降の変更点
コネクタ	3.9.46	マイナーなセキュリティの改善とバグ修正
バックアップとリカバリ	2024年11月22日	に行く "BlueXP backup and recoveryページの新機能" 2024年11月のリリースに含まれる変更点を参照してください
分類	2024年11月4日 (バージョン1.37)	に行く "BlueXP classificationページの新機能" 1.32から1.37リリースに含まれる変更点を参照してください
Cloud Volumes ONTAP管理	2024年11月11日	に行く "Cloud Volumes ONTAP管理ページの新機能" 2024年10月と2024年11月のリリースに含まれる変更点を参照してください。
オンプレミスのONTAPクラスタ管理	2024年11月26日	に行く "オンプレミスのONTAPクラスタ管理ページの新機能" 2024年11月のリリースに含まれる変更点を参照してください

BlueXP digital walletとBlueXP replicationもプライベート モードに含まれていますが、以前のプライベート モ

ード リリースから変更はありません。

プライベート モードの詳細（アップグレード方法を含む）については、以下を参照してください。

- ["プライベートモードについて学ぶ"](#)
- ["プライベートモードでBlueXPを始める方法を学ぶ"](#)
- ["プライベートモード使用時にコネクタをアップグレードする方法を学びます"](#)

2024年11月11日

コネクタ 3.9.46

BlueXPコネクタのこのリリースには、マイナーなセキュリティの改善とバグ修正が含まれています。

現時点では、3.9.46 リリースは標準モードと制限モードで利用できます。

IAM プロジェクトの ID

BlueXP ID およびアクセス管理からプロジェクトの ID を表示できるようになりました。API 呼び出しを行うときに ID を使用する必要がある場合があります。

["プロジェクトのIDを取得する方法を学ぶ"](#)。

2024年10月10日

コネクタ 3.9.45 パッチ

このパッチにはバグ修正が含まれています。

2024年10月7日

BlueXPアイデンティティおよびアクセス管理

BlueXP ID およびアクセス管理 (IAM) は、BlueXP を標準モードで使用するときにBlueXPアカウントによって提供されていた以前の機能を置き換え、強化する新しいリソースおよびアクセス管理モデルです。

BlueXP IAM は、リソースと権限のよりきめ細かな管理を提供します。

- 最上位の組織を使用すると、さまざまなプロジェクト間のアクセスを管理できます。
- `_フォルダー_`を使用すると、関連するプロジェクトをグループ化できます。
- 強化されたリソース管理により、リソースを 1 つ以上のフォルダーまたはプロジェクトに関連付けることができます。

たとえば、Cloud Volumes ONTAPシステムを複数のプロジェクトに関連付けることができます。

- 強化されたアクセス管理により、組織階層のさまざまなレベルのメンバーにロールを割り当てることができます。

これらの機能強化により、ユーザーが実行できるアクションやアクセスできるリソースをより適切に制御でき

るようになります。

BlueXP IAMが既存のアカウントに与える影響

BlueXPにログインすると、次の変更気付くでしょう。

- あなたの_アカウント_は_組織_と呼ばれるようになりました
- _ワークスペース_は_プロジェクト_と呼ばれるようになりました
- ユーザー ロールの名前が変更されました。
 - アカウント管理者 が 組織管理者 になりました
 - ワークスペース管理者 が フォルダーまたはプロジェクト管理者 になりました
 - コンプライアンス ビューア は 分類ビューア に変更されました
- 設定からBlueXPのIDとアクセス管理にアクセスして、これらの拡張機能を活用できます。

次の点に注意してください。

- 既存のユーザーや作業環境に変更はありません。
- ロールの名前は変更されていますが、権限の観点からは違いはありません。ユーザーは引き続き、以前と同じ作業環境にアクセスできます。
- BlueXPへのログイン方法に変更はありません。BlueXP IAM は、BlueXPアカウントと同様に、NetAppクラウド ログイン、NetAppサポート サイトの資格情報、およびフェデレーション接続で動作します。
- 複数のBlueXPアカウントをお持ちの場合は、複数のBlueXP組織が存在することになります。

BlueXP IAM の API

この変更により、BlueXP IAM の新しい API が導入されますが、以前のテナンシー API との下位互換性があります。 ["BlueXP IAMのAPIについて学ぶ"](#)

サポートされている展開モード

BlueXP を標準モードで使用する場合、BlueXP IAM がサポートされます。BlueXP を制限モードまたはプライベート モードで使用している場合は、引き続きBlueXP_アカウント_を使用してワークスペース、ユーザー、およびリソースを管理します。

次はどこへ行くか

- ["BlueXP IAMについて学ぶ"](#)
- ["BlueXP IAMを使い始める"](#)

コネクタ 3.9.45

このリリースには、拡張されたオペレーティング システムのサポートとバグ修正が含まれています。

3.9.45 リリースは、標準モードと制限モードで利用できます。

Ubuntu 24.04 LTSのサポート

3.9.45 リリース以降、BlueXP は、標準モードまたは制限モードでBlueXP を使用する場合、Ubuntu 24.04 LTS ホスト上のコネクタの新規インストールをサポートするようになりました。

["コネクタホストの要件を表示する"](#)。

RHELホストでのSELinuxのサポート

BlueXP は、強制モードまたは許可モードのいずれかで SELinux が有効になっている Red Hat Enterprise Linux ホストでコネクタをサポートするようになりました。

SELinux のサポートは、標準モードと制限モードでは 3.9.40 リリースから、プライベート モードでは 3.9.42 リリースから開始されます。

次の制限に注意してください。

- BlueXP は、Ubuntu ホストでの SELinux をサポートしていません。
- Cloud Volumes ONTAPシステムの管理は、オペレーティング システムで SELinux が有効になっているコネクタではサポートされません。

["SELinuxについて詳しく知る"](#)

2024年9月30日

プライベートモードリリース (3.9.44)

新しいプライベート モード リリースをNetAppサポート サイトからダウンロードできるようになりました。

このリリースには、プライベート モードでサポートされているBlueXPコンポーネントとサービスの次のバージョンが含まれています。

サービス	含まれるバージョン
コネクタ	3.9.44
バックアップとリカバリ	2024年9月27日
分類	2024年5月15日 (バージョン1.31)
Cloud Volumes ONTAP管理	2024年9月9日
デジタルウォレット	2023年7月30日
オンプレミスのONTAPクラスタ管理	2024年4月22日
レプリケーション	2022年9月18日

コネクタの場合、3.9.44 プライベート モード リリースには、2024 年 8 月と 2024 年 9 月のリリースで導入された更新が含まれています。特に注目すべきは、Red Hat Enterprise Linux 9.4 のサポートです。

これらのBlueXPコンポーネントおよびサービスのバージョンに含まれる内容の詳細については、各BlueXPサービスのリリース ノートを参照してください。

- ["コネクタの2024年9月リリースの新機能"](#)
- ["コネクタの2024年8月リリースの新機能"](#)
- ["BlueXP backup and recoveryの新機能"](#)
- ["BlueXP classificationの新機能"](#)
- ["BlueXPのCloud Volumes ONTAP管理の新機能"](#)

プライベート モードの詳細（アップグレード方法を含む）については、以下を参照してください。

- ["プライベートモードについて学ぶ"](#)
- ["プライベートモードでBlueXPを始める方法を学ぶ"](#)
- ["プライベートモード使用時にコネクタをアップグレードする方法を学びます"](#)

2024年9月9日

コネクタ 3.9.44

このリリースには、Docker Engine 26 のサポート、SSL 証明書の機能強化、およびバグ修正が含まれています。

3.9.44 リリースは、標準モードと制限モードで利用できます。

新規インストールでの **Docker Engine 26** のサポート

コネクタの 3.9.44 リリース以降、Ubuntu ホスト上の新しいコネクタ インストールで Docker Engine 26 がサポートされるようになりました。

3.9.44 リリースより前に作成された既存のコネクタがある場合、Ubuntu ホストでサポートされる最大バージョンは Docker Engine 25.0.5 のままです。

["Docker Engineの要件について詳しく見る"](#)。

ローカル UI アクセス用の **SSL** 証明書を更新しました

BlueXP を制限モードまたはプライベート モードで使用する場合、クラウド リージョンまたはオンプレミスにデプロイされているコネクタ仮想マシンからユーザー インターフェイスにアクセスできます。デフォルトでは、BlueXP は自己署名 SSL 証明書を使用して、コネクタ上で実行されている Web ベースのコンソールへの安全な HTTPS アクセスを提供します。

このリリースでは、新規および既存のコネクタの SSL 証明書に変更を加えました。

- 証明書の共通名が短縮ホスト名と一致するようになりました
- 証明書サブジェクト代替名は、ホストマシンの完全修飾ドメイン名（FQDN）です。

RHEL 9.4 のサポート

BlueXP は、BlueXP を標準モードまたは制限モードで使用する場合に、Red Hat Enterprise Linux 9.4 ホストへのコネクタのインストールをサポートするようになりました。

RHEL 9.4 のサポートは、コネクタの 3.9.40 リリースから開始されます。

標準モードと制限モードでサポートされている RHEL バージョンの更新されたリストには、次のものが含まれるようになりました。

- 8.6～8.10
- 9.1～9.4

["コネクタによる RHEL 8 および 9 のサポートについて学ぶ"](#)。

すべての RHEL バージョンで **Podman 4.9.4** をサポート

Podman 4.9.4 は、サポートされているすべてのバージョンの Red Hat Enterprise Linux でサポートされるようになりました。バージョン 4.9.4 は以前は RHEL 8.10 でのみサポートされていました。

サポートされている Podman バージョンの更新されたリストには、Red Hat Enterprise Linux ホストの 4.6.1 および 4.9.4 が含まれています。

コネクタの 3.9.40 リリース以降の RHEL ホストには Podman が必要です。

["コネクタによる RHEL 8 および 9 のサポートについて学ぶ"](#)。

AWSとAzureの権限の更新

コネクタの AWS および Azure ポリシーを更新し、不要になった権限を削除しました。これらの権限は BlueXP エッジ キャッシングと Kubernetes クラスターの検出および管理に関連するものでしたが、2024 年 8 月をもってサポートされなくなりました。

- ["AWSポリシーの変更点を確認する"](#)。
- ["Azureポリシーの変更点を確認する"](#)。

2024年8月22日

コネクタ 3.9.43 パッチ

Cloud Volumes ONTAP 9.15.1 リリースをサポートするためにコネクタを更新しました。

このリリースのサポートには、Azure のコネクタ ポリシーの更新が含まれます。ポリシーには次の権限が含まれるようになりました。

```
"Microsoft.Compute/virtualMachineScaleSets/write",  
"Microsoft.Compute/virtualMachineScaleSets/read",  
"Microsoft.Compute/virtualMachineScaleSets/delete"
```

これらの権限は、仮想マシン スケール セットの Cloud Volumes ONTAP サポートに必要です。既存のコネクタがあり、この新しい機能を使用する場合は、Azure 資格情報に関連付けられているカスタム ロールにこれらのアクセス許可を追加する必要があります。

- ["Cloud Volumes ONTAP 9.15.1 リリースについて"](#)
- ["コネクタの Azure 権限を表示する"](#)。

2024年8月8日

コネクタ 3.9.43

このリリースには、マイナーな改善とバグ修正が含まれています。

3.9.43 リリースは、標準モードと制限モードで利用できます。

更新されたCPUおよびRAM要件

より高い信頼性を提供し、BlueXPとコネクタのパフォーマンスを向上させるために、コネクタ仮想マシンに追加の CPU と RAM が必要になりました。

- CPU: 8 コアまたは 8 vCPU (以前の要件は 4)
- RAM: 32 GB (以前の要件は 14 GB)

この変更の結果、BlueXPまたはクラウド プロバイダーのマーケットプレイスからコネクタをデプロイする場合のデフォルトの VM インスタンス タイプは次のようになります。

- AWS: t3.2xlarge
- Azure: Standard_D8s_v3
- Google Cloud: n2-standard-8

更新された CPU および RAM の要件は、すべての新しいコネクタに適用されます。既存のコネクタの場合、パフォーマンスと信頼性を向上させるために、CPU と RAM を増やすことをお勧めします。

RHEL 8.10 での Podman 4.9.4 のサポート

Red Hat Enterprise Linux 8.10 ホストにコネクタをインストールするときに、Podman バージョン 4.9.4 がサポートされるようになりました。

アイデンティティ連携のためのユーザー検証

BlueXPで ID フェデレーションを使用する場合、BlueXPに初めてログインする各ユーザーは、自分の ID を検証するための簡単なフォームに入力する必要があります。

2024年7月31日

プライベートモードリリース (3.9.42)

新しいプライベート モード リリースをNetAppサポート サイトからダウンロードできるようになりました。

RHEL 8および9のサポート

このリリースには、BlueXP をプライベート モードで使用する場合に、Red Hat Enterprise Linux 8 または 9 ホストにコネクタをインストールするためのサポートが含まれています。次のバージョンの RHEL がサポートされています。

- 8.6～8.10
- 9.1～9.3

これらのオペレーティング システムでは、コンテナ オーケストレーション ツールとして Podman が必要です。

Podman の要件、既知の制限、オペレーティング システムのサポートの概要、RHEL 7 ホストがある場合の対処方法、開始方法などについて知っておく必要があります。

["コネクタによる RHEL 8 および 9 のサポートについて学ぶ"](#)。

このリリースに含まれるバージョン

このリリースには、プライベート モードでサポートされているBlueXPサービスの次のバージョンが含まれています。

サービス	含まれるバージョン
コネクタ	3.9.42
バックアップとリカバリ	2024年7月18日
分類	2024年7月1日（バージョン1.33）
Cloud Volumes ONTAP管理	2024年6月10日
デジタルウォレット	2023年7月30日
オンプレミスのONTAPクラスタ管理	2023年7月30日
レプリケーション	2022年9月18日

これらのBlueXPサービスのバージョンに含まれる内容の詳細については、各BlueXPサービスのリリース ノートを参照してください。

- ["プライベートモードについて学ぶ"](#)
- ["プライベートモードでBlueXPを始める方法を学ぶ"](#)
- ["プライベートモード使用時にコネクタをアップグレードする方法を学びます"](#)
- ["BlueXP backup and recoveryの新機能について"](#)
- ["BlueXP classificationの新機能について学ぶ"](#)
- ["BlueXPのCloud Volumes ONTAP管理の新機能について学ぶ"](#)

2024年7月15日

RHEL 8.10 のサポート

BlueXP は、標準モードまたは制限モードを使用しているときに、Red Hat Enterprise Linux 8.10 ホストにコネクタをインストールすることをサポートするようになりました。

RHEL 8.10 のサポートは、コネクタの 3.9.40 リリースから開始されます。

["コネクタによる RHEL 8 および 9 のサポートについて学ぶ"](#)。

2024年7月8日

コネクタ 3.9.42

このリリースには、AWS カナダ西部 (カルガリー) リージョンのコネクタに対するマイナーな改善、バグ修正、およびサポートが含まれています。

3.9.42 リリースは、標準モードと制限モードで利用できます。

更新されたDockerエンジン要件

コネクタが Ubuntu ホストにインストールされている場合、サポートされる Docker エンジンの最小バージョンは 23.0.6 になりました。以前は19.3.1でした。

サポートされる最大バージョンは 25.0.5 のままです。

["コネクタホストの要件を表示する"](#)。

メール認証が必要になりました

BlueXPにサインアップする新規ユーザーは、ログインする前に電子メール アドレスを確認することが必要になりました。

2024年6月12日

コネクタ 3.9.41

BlueXPコネクタのこのリリースには、マイナーなセキュリティの改善とバグ修正が含まれています。

3.9.41 リリースは、標準モードと制限モードで利用できます。

RHEL 7およびCentOS 7のサポート終了

2024 年 6 月 30 日に、RHEL 7 はメンテナンス終了 (EOM) に達し、CentOS 7 はサポート終了 (EOL) に達しました。NetApp は、2024 年 6 月 30 日にこれらの Linux ディストリビューション上のエージェントのサポートを終了しました。

["Red Hat: Red Hat Enterprise Linux 7 のメンテナンス終了について知っておくべきこと"](#)

RHEL 7 または CentOS 7 で既存のエージェントが実行されている場合、NetApp はオペレーティング システムを RHEL 8 または 9 にアップグレードまたは変換することをサポートしていません。サポートされているオペレーティング システムで新しいエージェントを作成する必要があります。

1. RHEL 8 または 9 ホストをセットアップします。
2. Podman をインストールします。
3. 新しいエージェントをインストールします。
4. 以前のエージェントが管理していたシステムを検出するようにエージェントを構成します。
5. システムを再発見してください。

新しいコンソール エージェントを展開した後、システムを再検出するには、次のページを参照してください。

- ["既存のCloud Volumes ONTAPシステムを追加する"](#)
- ["オンプレミスのONTAPクラスタの検出"](#)
- ["FSx for ONTAPシステムを作成または検出する"](#)
- ["Azure NetApp Filesシステムを作成する"](#)
- ["Eシリーズシステムの詳細"](#)

2024年6月4日

プライベートモードリリース (3.9.40)

新しいプライベート モード リリースをNetAppサポート サイトからダウンロードできるようになりました。このリリースには、プライベート モードでサポートされているBlueXPサービスの次のバージョンが含まれています。

このプライベート モード リリースには、Red Hat Enterprise Linux 8 および 9 のコネクタのサポートは含まれていないことに注意してください。

サービス	含まれるバージョン
コネクタ	3.9.40
バックアップとリカバリ	2024年5月17日
分類	2024年5月15日 (バージョン1.31)
Cloud Volumes ONTAP管理	2024年5月17日
デジタルウォレット	2023年7月30日
オンプレミスのONTAPクラスタ管理	2023年7月30日
レプリケーション	2022年9月18日

これらのBlueXPサービスのバージョンに含まれる内容の詳細については、各BlueXPサービスのリリース ノート参照してください。

- ["プライベートモードについて学ぶ"](#)
- ["プライベートモードでBlueXPを始める方法を学ぶ"](#)
- ["プライベートモード使用時にコネクタをアップグレードする方法を学びます"](#)
- ["BlueXP backup and recoveryの新機能について"](#)
- ["BlueXP classificationの新機能について学ぶ"](#)
- ["BlueXPのCloud Volumes ONTAP管理の新機能について学ぶ"](#)

2024年5月17日

コネクタ 3.9.40

BlueXPコネクタのこのリリースには、追加のオペレーティング システムのサポート、マイナーなセキュリティの改善、およびバグ修正が含まれています。

現時点では、3.9.40 リリースは標準モードと制限モードで利用できます。

RHEL 8および9のサポート

コネクタは、BlueXP を標準モードまたは制限モードで使用する場合、新しいコネクタ インストールを備えた次のバージョンの Red Hat Enterprise Linux を実行しているホストでサポートされるようになりました。

- 8.6～8.9
- 9.1～9.3

これらのオペレーティング システムでは、コンテナ オーケストレーション ツールとして Podman が必要です。

Podman の要件、既知の制限、オペレーティング システムのサポートの概要、RHEL 7 ホストがある場合の対処方法、開始方法などについて知っておく必要があります。

["コネクタによる RHEL 8 および 9 のサポートについて学ぶ"](#)。

RHEL 7およびCentOS 7のサポート終了

2024 年 6 月 30 日に、RHEL 7 はメンテナンス終了 (EOM) を迎え、CentOS 7 はサポート終了 (EOL) を迎えます。NetApp は、2024 年 6 月 30 日までこれらの Linux ディストリビューション上のコネクタのサポートを継続します。

["RHEL 7 または CentOS 7 で既存のコネクタを実行している場合の対処方法を学びます"](#)。

AWS 権限の更新

3.9.38 リリースでは、AWS のコネクタ ポリシーを更新し、「ec2:DescribeAvailabilityZones」権限を追加しました。Cloud Volumes ONTAPで AWS Local Zones をサポートするには、この権限が必要になりました。

- ["コネクタの AWS 権限を表示する"](#)。
- ["AWS Local Zonesのサポートについて詳しくはこちら"](#)

NetApp Consoleの既知の制限

今回のリリースでサポートされていない、または今回のリリースでは正常に機能しないプラットフォーム、デバイス、機能が記載されています。これらの制限事項をよく確認してください。

これらの制限は、NetApp Consoleと管理（エージェント、SaaS (Software as a Service) プラットフォームなど）のセットアップに固有のものです。

コンソールエージェントの制限

172番台のIPアドレスとの競合の可能性

NetApp Consoleは、172.17.0.0/16 および 172.18.0.0/16 の範囲の IP アドレスを持つ 2 つのインターフェースを持つエージェントを展開します。

ネットワークにこれらのいずれかの範囲で構成されたサブネットがある場合、コンソールからの接続エラーが発生する可能性があります。たとえば、コンソールでオンプレミスのONTAPクラスターを検出できない場合があります。

ナレッジベースの記事を参照["エージェントIPが既存のネットワークと競合する"](#)エージェントのインターフェースの IP アドレスを変更する方法については、こちらをご覧ください。

SSL 復号化は **Cloud Volumes ONTAP** でのみサポートされます

透過プロキシ サーバは、Cloud Volumes ONTAP に関連付けられたエージェントでのみサポートされます。他の NetApp データサービスで使用されているエージェントでは、透過プロキシを使用できません。NetApp データサービスを Cloud Volumes ONTAP と併用する場合は、透過プロキシ サーバを使用できる Cloud Volumes ONTAP 専用のエージェントを作成してください。

セキュリティを強化するために、"[証明機関 \(CA\) によって署名された HTTPS 証明書をインストールする](#)"。

ローカル UI を読み込むときに空白ページが表示される

エージェント上で実行されている Web ベースのコンソールをロードすると、インターフェイスが表示されず、空白のページが表示される場合があります。

この問題はキャッシュの問題に関連しています。回避策としては、シークレット モードまたはプライベート Web ブラウザ セッションを使用します。

共有 **Linux** ホストはサポートされていません

エージェントは、他のアプリケーションと共有されている VM ではサポートされません。VM はエージェント ソフトウェア専用にする必要があります。

サードパーティのエージェントと拡張機能

エージェント VM では、サードパーティ エージェントまたは VM 拡張機能はサポートされません。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。